

事業名 鯛車制作教室

目的 昭和30年代まで、お盆の頃になると子どもたちが家の周りを引いていた「鯛車」。この風景を巻地区に復活させるため、地元鯛車保存会の協力を得ながら「鯛車制作教室」を開催する。

実施主体 新潟市巻地区公民館

参加対象 一般（小学生は保護者同伴）

参加者数 16人（延べ117人）

回数 8回 **日数** 8日 **時間** 24時間

場所 新潟市巻地区公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1 ～ 8	6月8日から8月3日までの 毎日曜日 (6月15日を除く) 9:00～12:00	鯛車の制作	巻地区鯛車保存会 野口 基幸ほか ボランティア6人
	内容・ 方法	○ 鯛車保存会（ボランティア）の人たちから、指導を受けながら、お盆前には完成できるような作業を進めた。 ○ 竹ひごによる骨組みから、和紙を貼る工程、和ろうそくでウロコなどの模様書き、色付けの作業を行う。 ○ 参加費5,000円（材料費等）	

成果 ・ 講師以外に鯛車復活プロジェクトの方々のサポートがあり、参加者全員が完成することができた。また、6月の巻まつりやお盆の時期に「鯛車」を引いている子どもがみられた。この事業も4年目を迎えたが、地域の伝統事業として今後も続けていきたい。

課題 ・ 巻地区の郷土玩具ということで住民の意識は高いが、まだ全域に伝わっていない。
・ お盆の風物詩として、古くから伝わる巻独自の文化に行政が関与し、鯛車復活プロジェクト団体と共に復活させていく必要がある。
・ 受講者が事業終了後、引き続き継続して学習するまでには至らず、サークル化することが難しい。

問合せ先 新潟市巻地区公民館（担当：田村 益幸）TEL：0256-72-3329